

九州運輸局メールマガジン 平成27年7月23日 第311号

～運輸と観光で九州の元気を創ります～

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/>

九州運輸局メールマガジンをご愛読くださりありがとうございます。

九州運輸局メールマガジンは隔週の木曜日にお届けいたします。

次回発行日は平成27年8月6日(木)です。

## 目次

### 1 現場レポート

- ・夏季多客期の安全輸送確保を目指し、旅客船・フェリーの総点検を実施しました
- ・第5回「九州UMIアカデミー」開催！～“海(UMI)”をテーマとした体験と学習が始まりました～
- ・水産系高校の生徒さんへ出前講座を実施しました～若年船員の確保育成を目指して～
- ・海の仕事(内航)乗船体験&細島CT見学会～操舵の体験「スターボード20」の指示とは？～

### 2 「海フェスタくまもと」情報

- ・7月18日に開幕しました！～海の総合展・セミナー・シンポジウム・イベントなど見どころがいっぱい！！～

### 3 九州運輸局ホームページアップ情報(7月9日～7月22日掲載分)

#### 1 現場レポート

夏季多客期の安全輸送確保を目指し、旅客船・フェリーの総点検を実施しました

九州運輸局では、夏季のレジャーやお盆の帰省などの多客期を控え、7月1日から10日までの間、旅客船やカーフェリー等の海上交通機関を対象とした「夏季安全総点検」を実施しました。これは、旅客船等による海難事故が発生した場合、沈没等により甚大な被害が生じる恐れがあり、また、負傷者の救出にも時間を要することが予想されることから、事故を未然に防止し、安全運航を確保するために旅客船等の海上交通機関に対し、自主点検の実施を要請するとともに、九州運輸局職員による立入点検を実施しているものです。

本年も管内各港において、運航労務監理官、船舶検査官、船舶測度官が連携して点検班を編成し、延べ53社、59航路、71隻に対して立入点検を実施しました。博多港では7月1日に、久保田九州運輸局次長の総指揮のもと九州郵船株式会社運航の「フェリーきずな」(1,809トン)に立ち入り、救命胴衣の保管状況や救命設備の保守状況等を重点に点検を実施しました。

点検結果は良好であり指摘事項等も無かったものの、安全統括管理者や運航管理者へ今後より一層の安全運航をお願いし点検を終えました。

また、各支局・海事事務所においても、支局長等を総指揮とする点検班により立入点検を実施し、その様子がテレビ・新聞に取り上げられ、船舶の安全運航確保に対する関心の高さが伺えました。

特に下関と釜山を結ぶ関釜フェリー株式会社「はまゆう」への立入検査では、5月、6月に韓国にて多くの犠牲者が出たMERSへの関心からか、多くの取材、報道が

ありました。

九州運輸局では、今後も船舶の安全運航の確保を図るよう関係者とともに引き続き取り組んでいきます。

各地での立入点検の様子は次のURLからご覧になれます。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_311\\_5.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_311_5.pdf)  
(海上安全環境部 運航労務監理官)

---

#### 第5回「九州UMIアカデミー」開催!

～ “海(UMI)”をテーマとした体験と学習が始まりました～

7月4日(土) 海の駅である福岡市ヨットハーバー(福岡市西区小戸)において、第5回「九州UMIアカデミー」の開校式が行われました。

「九州UMIアカデミー」は、「(U)海に(M)みんなで(I)行こう」をスローガンに、将来を担う子供たちが海と関わりがあるスポーツ(ライフセービング、ヨットなど)の体験や海洋学習(気象、自然教育など)を通して、海が「誰でも、気軽に、安心して、楽しめる」フィールドであることを実感してもらえる体験と学習のプログラムです。

5回目を迎える今年も、福岡県内から小学生とその保護者合わせて60名が集まりました。参加者の中にはリピーターの方もいて、自ら持参したロープで昨年の講座で習得した「もやい結び」を手際よく作っている子どもの姿も見受けられました。小雨降りしきるあいにくの空模様でしたが、会場内は溢れんばかりの熱気に包まれ、今年も暑い夏になることを予感させる一日となりました。

カリキュラムは、7月から10月の3ヶ月間で10回の講座が予定されています。今年も、2016年のリオデジャネイロ五輪から新しく正式種目に採用されたセーリングの日本代表を目指す「松苗・原田ペア」によるデモ走行の見学や、日本経済大学の坂口先生による特別講座「海の生き物・マリンスポーツについて」が新規イベントとして追加されるなど、盛りだくさんの内容となっています。

開校式の模様は次のURLからご覧になれます。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_311\\_2.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_311_2.pdf)  
(海事振興部 船舶産業課)

---

#### 水産系高校の生徒さんへ出前講座を実施しました

～若年船員の確保育成を目指して～

熊本運輸支局では、平成27年7月14日(火)に熊本県立苓洋高校・天草拓心高校(熊本県天草郡苓北町)海洋開発科1年生から3年生46名の生徒さんを対象に、「暮らしを支える内航海運について」と題し、天草地区の内航海運事業者有志で結成された「天草マリン同志会」と共同で海事産業人材育成講座(出前講座)を実施しました。

苓洋高校は本年4月の入学生から天草拓心高校に校名変更した(2年生、3年生は

苓洋高校のままです。熊本県唯一の水産系高校です。

出前講座は株式会社雄和海運 浦山社長の「内航海運の役割と船員の仕事」の講義で始まり、全国的な船員不足あること、高齢化が急速に進んでいること、運輸業界における船舶の重要性や船員のメリット・デメリットについて、詳細にわたり丁寧な説明がありました。

講義の最後には「会社から求められる人材像 5 項目」として、組織力・秩序 忍耐力・実直さ 協調性・コミュニケーション力 自主性・思いやり ポジティブを挙げられ、生徒達も頷きながらペンを走らせていました。

次に、内航船の船員として就職した当校OBからの体験談がありました。

「魚釣りが好きなので本校に入学した。就職して船員になるときも『すぐ辞めるのかなあ』と思いながら仕事をしていました。毎日怒られながらも優しい諸先輩に囲まれて、今では船員を長く続けられるよう頑張ろうと思っている。仕事で一番気をつけているのは、事故防止だ。」と、実際に乗船している先輩から現場の生の声が聞けたことや具体的な仕事の内容も聞くことが出来て、聴講後は在校生から矢継ぎ早に「船に乗っていて楽しいことは？」「船員になって良かったことは？」「船での食事は？」などの質問が飛び交い、強い関心を持っていることを感じられました。

最後に、熊本運輸支局 から「海技免状のシステムについて」と題し、関係条約や船舶の航行エリア、また、海技免状の受験資格等、海技免状制度の全般について説明を行い、海技免状（国家資格）取得の重要性を訴えました。

講義の後、アンケートを実施したところ、3年生16名及び2年生9名全員が内航船員を希望し、入学間もない1年生にあっては21名中19名が「将来は大型船舶の船員になりたい」と、例年以上に感触の良い結果となり、関係者一同大喜びでした。

最後に当校の在校生代表から、「内航船の重要性や船員の仕事内容や求められる人材像の5項目の重要性、そして先輩の船員としての実体験、また、海技免状のシステムや重要性について、とても身のある話が聞けました。船員になろうという気持ちが湧いてきました。今後もこういった出前講座を是非開催して欲しい。」と謝辞があり、実りある出前講座を終了しました。

今後も、船員不足解消のため関係業界の皆様と一丸となって海事産業人材育成に努めて参ります。

出前講座の様子は次のURLからご覧になれます。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_311\\_3.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_311_3.pdf)  
(熊本運輸支局)

-----  
海の仕事(内航)乗船体験&細島CT見学会

～操舵の体験「スターボード20」の指示とは?～

宮崎運輸支局では、内航RORO船による乗船体験と細島CT(コンテナターミナル)施設見学会を宮崎市内の小・中学校の生徒と保護者を対象に平成26年から開催しており、今年が2年目の実施となります。今年も、昨年の反省を活かして台風の時期を避けて、6月20日～7月4日までの各週の土曜日に3回実施しました。 参

加者は、応募のあった小中学生16名と保護者8名の合計24名です。

この乗船体験と港湾施設見学会は、海事産業次世代人材育成事業として、海の仕事の重要性を理解してもらい将来の職業選択の一つとして考えてもらうことを目的として開催しているものです。

乗船体験は、「宮崎港～細島港～大阪港」間を定期的に営業航海している内航 RORO 船（注）2,242 総トンの船舶を使用して、宮崎港～細島港の約2時間半の航海を実際に乗船するもので、全国的にも例のない貴重な体験となっています。更に細島 CT の見学会では、コンテナ船に積み卸しする荷役機械（ガントリークレーン）の高さ33mにあるオペレーター室に昇って操縦席に座り、実際の操縦方法を説明してもらおうといった、これもまた普段では経験できない見学内容となっています。

乗船体験では、宮崎港に停泊している RORO 船「はっこう21」に乗船し、船長から船内を案内してもらった後、乗組員の出港作業をブリッジ（船橋）から見学しました。船が離岸した後は、操舵の方法を直に学んだ後、船長から指示された“スターボード20”（舵を右に20度切ること）を復唱して実際に舵を切る操舵体験とエンジンスロットルレバーの操作体験を行いました。参加した生徒は、大きな船を操る船員の仕事を体感し、自然を相手にするその大変さや難しさを学んだことで「海の仕事に大変興味を持った」「大変楽しかった」といったアンケートの感想を多く頂きました。

また、細島 CT 見学会では、CT の職員から船舶による物流や、船の役割等を学んだ後、コンテナ荷役が行われている岸壁に移動して「ストラドルキャリア」というコンテナ運搬車や「ガントリークレーン」での荷役風景の見学と併せて、稼働していないガントリークレーンへエレベーターで昇りオペレーター室の見学と操縦の説明を受けました。高所での見学体験ということもあって、見学を終えた生徒保護者の方々は非常に緊張した面持ちでテンションも高い様子でした。

宮崎市内の方は、海事産業施設を見る機会がほとんど無く、あまり馴染みはありませんが、地元新聞記者の取材により、記事に取り上げていただいたことでPRすることができました。

日頃目にすることがない「海の仕事」について、今回の体験で子供達が将来の職業選択の一つとして「海の仕事」を1人でも選んでもらえたらと思いながら、宮崎運輸支局では今後もこのような貴重な体験が出来る見学会を企画して次世代人材育成事業を継続的に実施していくこととしています。

今回、乗船体験と見学会にご協力を頂いた、地元内航海運及び港湾運送事業者並びに関係者の皆様方に深く感謝を申し上げます。

（注）

内航 RORO 船とは、トラック・自動車等が自走で積み込み積み卸しができる貨物専用のフェリーをいいます。

乗船体験&細島CT見学会の様子は次のURLからご覧ください。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_311\\_4.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_311_4.pdf)

（宮崎運輸支局）

7月18日に開幕しました！  
～海の総合展・セミナー・シンポジウム・イベントなど見どころがいっぱい！！～

待ちに待った日本最大の海の祭典「海フェスタくまもと」が、7月18日に真夏の到来とともに開幕しました。

熊本市民会館崇城大ホールでの開会式に始まり、熊本市・天草市・玉名市・宇城市・荒尾市・宇土市・上天草市・長洲町の7市1町で、子どもから大人まで楽しめるイベントが目白押しです。

海の総合展「ARIAKE 8 EXPO」では、各地のユルキャラが開幕を祝って集まり、また、大型船の一般公開や九州発の「ウォータースクリーン」にも大勢の家族連れで賑わっています。

さあ皆さん、今年の夏はぜひ熊本へご家族やお友達とお出かけください。

メイン会場へのアクセスやその他のイベント情報は、こちらのURLからどうぞ。  
<http://www.umifesta-kumamoto.com/>

### 3 九州運輸局ホームページアップ情報 (7月9日～7月22日掲載分)

--- 報道発表 -----  
<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/>

--- お知らせ -----  
<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/>

--- 総合案内 -----  
《業務内容》  
観光地域振興課(観光・地域づくり関連施策メニュー更新)  
<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kikaku/file03b.htm#2>

--- 各種情報 -----  
《入札・契約情報》  
工事入札公示  
[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#KOUJITOU\\_UKE01](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#KOUJITOU_UKE01)

企画競争結果の公表  
[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#KIKAKU\\_KEKKA](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#KIKAKU_KEKKA)

《行政処分状況》  
個別の事業者に対する行政処分等の状況はこちら  
(一般乗合旅客 平成27年6月分追加)  
<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/noriai/noriai27.htm>

(一般貸切旅客 平成27年6月分追加)  
<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/kasikiri/kasikiri27.htm>

(一般乗用旅客 平成27年6月分追加)  
<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/jyouyou/jyouyou27.htm>

(一般貨物 平成27年6月分追加)

<http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/KAMOTU/kamotu27.htm>

(一般貨物(過積載) 平成27年6月分追加)

<http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/KAMOTU/kasekisai27.htm>

--- 各種手続き-----

《海技試験制度・合格発表》

海技免状等の国家試験(3~5級海技士(航海、機関)筆記試験合格発表・口述試験日程発表、並びに7月定期試験総合合格発表日掲載、過去の合格発表(4月)を平成27年4月定期分に更新)

<http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/kaigisiken/body.htm>

--- 分野別情報-----

《自動車》

自動車分解整備事業関係(申請・届出様式)(様式1、様式3、様式5、様式6更新)

[http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/jidousya\\_g/file04.htm](http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/jidousya_g/file04.htm)

//////// 編集部より //

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。  
編集部では、運輸と観光に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

////////////////////////////////////

本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

[http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/backnumber-top.htm](http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm)

本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから

[http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou\\_mail.html](http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html)

九州運輸局メールマガジン編集部(九州運輸局総務部内)

mail: [qst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp](mailto:qst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp)

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192